

アルジェリア政治・経済月例報告
(2024年5月)

2024年5月
在アルジェリア日本国大使館

内政

- 1日、テブン大統領は、メーデー記念式典を主催。
- 2日、テブン大統領は、世界報道の自由デー（5月3日）記念式典を主催。
- 4日、メラッド内相は、マグニチュード6.8の地震を想定した市民防衛総局による模擬訓練を監督。
- 7日、テブン大統領は、「国民の記憶の日」に際し国民向けメッセージを発出。
- 13-14日、当地訪問中のパイヤン・仏マルセイユ市長は、ラベヒ・アルジェ県知事との間で、複数分野にまたがる都市間協力協定に署名するとともに、テブン大統領を表敬。
- 14日、国民年金基金（CNR）は、本年6月からの退職年金の引上げを発表。
- 18日、ハヌーン労働党（PT）党首は、次期大統領選へ出馬表明。
- 18日、シェングリハ国軍参謀総長は、第1軍管区を視察するとともに、「エルヒスン2024」と称する実弾による戦術演習を監督。
- 19日、テブン大統領は、学生蜂起記念日に際し、アルジェ科学技術センター開所式を主催。
- 21日、テブン大統領は、中央及び地方議会の27政党党首と意見交換。
- 23日、議会多数派を占める国民解放戦線（FLN）、民主国民連合（RND）、未来戦線（FM）、エル・ビナー運動は、アルジェリアのための多数派政党同盟（CPMA）結成を発表。
- 24日、エル・ビナー運動のベングリナ党首は、テブン大統領の2期目への出馬を呼び掛け。
- 25日、平和のための社会運動（MSP）のハサーニー党首は、次期大統領選へ出馬表明。
- 31日、エンナハダ運動は、平和のための社会運動（MSP）のハサーニー党首の大統領選出馬への支持を表明。

外交

- 2日、メラッド内相は、ローマ開催のアルジェリア、伊、チュニジア、リビアの内務大臣が集う不法移民に関するハイレベル調整会合に参加。
- 2日、ベンジャマ当国国連常駐代表は、スミス・バハマ連邦常駐代表と共に、両国間の外交関係樹立に関する共同コミュニケに署名。
- 2-3日、アッターフ外相は、コペンハーゲン開催の第21回北欧・アフリカ閣僚会合に出席するとともに、デンマーク、ノルウェー、南アフリカ、ガーナ、リビア、コートジボワール、ジンバブエ、ウガンダのカウンターパートとそれぞれ会談。
- 5日、ラルバウィ首相は、バンジュール（ガンビア）開催の第15回イスラム協力

機構（O I C）首脳会合にてテブン大統領スピーチを代読するとともに、ファイ・セネガル大統領、ファキAUC委員長、ターハO I C事務総長、エル＝クーニ・リビア国民評議会副議長とそれぞれ会談。

●5日、アッターフ外相は、当地訪問中のザヤーニ・バーレーン外相と会談。

●5－9日、当地訪問中のムヴバ・コンゴ共国民議会議長（元首相）は、ブガリ国民議会（下院）議長、アッターフ外相、グジル国民評議会（上院）議長、テブン大統領とそれぞれ会談。

●7日、外務省はコミュニケにて、ラファハにおけるイスラエルによる軍事作戦を最も強い言葉で非難。

●9日、当地訪問中のバドル・オマーン外相は、テブン大統領を表敬するとともに、アッターフ外相と会談。

●11日、当国外務省はコミュニケにて、パレスチナの国連加盟申請等に係る総会決議採択を歓迎。

●13日、ブガリ下院議長は、当地訪問中のエル＝シャワブカ・アラブ列国議会同盟事務局長と会談。

●13日、マグラマン外務次官は、当地訪問中のホドルUNICEF中東北アフリカ担当ディレクター、グアルニエリWFPオペレーション担当事務局長補佐とそれぞれ会談。

●13－14日、ベルマフディ宗教・ワクフ相は、トルコ開催のイスラム学者諮問サミットに出席するとともに、エルバシュ・トルコ宗教庁長官と会談。

●13－14日、アッターフ外相は、バーレーン開催の第33回アラブ首脳連盟理事会の外相準備会合に出席するとともに、サファディ・ヨルダン副首相兼外務・移民相、メルズーグ・モーリタニア外相、ジンダーニー・イエメン外務・移民相とそれぞれ会談。

●14日、バダリ高等教育・科学研究相は、当地訪問中のベルニーニ伊大学・研究相との間で、高等教育・科学研究分野における両国覚書に署名。

●14－15日、アッターフ外相は、オマーンを訪問し、ハイサム国王を表敬。

●15－16日、アッターフ外相は、バーレーン開催の第33回アラブ首脳連盟理事会にてテブン大統領スピーチを代読。ミカーティ・レバノン首相と会談するとともに、ダチッチ・セルビア副首相兼外相と電話会談。

●15－16日、バダウィ国家警察庁（DGSN）長官は、訪米し、ニューヨーク市麻薬対策局長と会談するとともに、同市警察本部、米・加間の国境警察を視察。

●16日、ベトナム共産党代表団は、当地を訪問し、革命国際友好協会（A I A R A）本部を訪問。

●17日、ブガリ下院議長は、スイスを訪問し、2025年開催予定の第6回世界議長会議の準備会合に出席。

●17－18日、マグラマン外務次官は、在仏アルジェリア大にて、在外自国民コミュニティに関する会議を主催し、欧州・北米の全アルジェリア領事が出席。

●19日、アッターフ外相は、当地訪問中のバイポ＝テモン中央アフリカ外相、ソレル仏大統領補佐官（リビア特使）とそれぞれ会談。

- 20日、アッターフ外相は、ランジェル・ポルトガル外相と電話会談。
- 20日、テブン大統領は、ライースィ・イラン大統領らの死去を受け、弔意を表明。
- 21日、アッターフ外相は、バーゲリキャニ・イラン外相代行と電話会談。
- 21-22日、ブガリ下院議長、レビーカ・ムジャヒディン・権利承継相らは、イランを訪問し、ライースィ・イラン大統領らの葬儀に参列。
- 21-23日、アルジェにて第5回植民地化と記憶に係る仏・アルジェリア合同委員会が開催。
- 22日、アッターフ外相は、6月にアルジェで開催予定の安保理改革に係る閣僚会合への準備の一環で、オドンゴ・ウガンダ外相、ガコソ・コンゴ共外相、ムシェレンガ・ナミビア外相と電話会談。
- 22-23日、アッターフ外相は、大統領特使としてセネガルを訪問し、ファル外相と会談するとともに、ファイ大統領を表敬。
- 23日、テツビ法務・国璽相は、チャドを訪問し、マハマト大統領の就任式に出席。
- 25日、当国外務省はコミュニケにて、国際司法裁判所（ICJ）がイスラエルに対しラファハでの軍事行動を停止するよう暫定措置命令を発出した件についての満足を表明。
- 26日、アッターフ外相は、ブリュッセル開催のパレスチナ問題に関するアラブ・欧州閣僚会合に出席。
- 26日、マグラマン外務次官は、アフリカ・デー記念式典にて、アッターフ外相スピーチを代読し、アフリカ大陸の持続可能な発展へのコミットメントや西サハラの自決権等を強調。
- 26-27日、アルジェにて第36回アラブ議会連盟（AIPU）会合が開催。ブガリ下院議長兼AIPU現議長は、当国がパレスチナに必要な支援を動員し続ける旨表明。
- 27日、テブン大統領は、当地訪問中のゴロブ・スロベニア首相と会談。
- 28日、ブガリ下院議長は、当地訪問中のディレイタ・ジブチ国民議会議長と会談。
- 28日、ブガリ下院議長は、当地訪問中のパトリシオ・ラテンアメリカ議会議長との間で協力覚書に署名。
- 28-31日、アッターフ外相は、中国開催の第10回中国・アラブ協力フォーラム出席。王毅・中国外相、張明・上海協力機構（SCO）事務局長、李・中国財務次官と会談するとともに、バーゲリキャニ・イラン外相代行と電話会談。

経済

- 1日、商業・輸出促進省は、原材料、製品、転売目的の商品の輸入要請を追跡するプラットフォームによる新しい電子データ暗号化システムを開始する旨発表。
- 2日、中国自動車ブランド Great Wall 社の当地代理店 Great Wall Motors Algeria が輸入に係る最終認可を取得。

- 2日、保健省は、世界保健機関（WHO）との間で、2024年から2025年までの協力協定に署名。
- 2日、官報第29号にて、輸入規制高等審議会への経済再生評議会（CREA）参加が掲載。
- 3日、ラフルーフ公共事業・基礎インフラ相は、第10回アフリカ投資・貿易フォーラムに出席。
- 4-6日、当地訪問中のハリーファ・カタール商工会議所会長は、アウン産業・製薬相、ジトゥニ商業・輸出促進相とそれぞれ会談。
- 5日、ワリード知識経済・スタートアップ・零細企業相は、ロンドン開催の第21回ロンドン・ビジネス・スクール（LBS）MENA会合に出席参加。
- 5日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、当地訪問中のノルウェーEquinor 副社長と会談。
- 5日、仏トタルエナジーズ社は、2024年及び2025年の、当地を含むアフリカ32か国でのスタートアップ企業支援の公募を開始。
- 7日、国営炭化水素資源開発庁（ALNAFT）は、ノルウェーEquinor 社との間で、当国の炭化水素の潜在可能性の調査に関する協定に署名。
- 8日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、オズデミル・トルコ家族・社会サービス相と共に、アンカラにて第12回両国経済・科学・技術協力合同委員会を開催。
- 8日、米宇宙航空局（NASA）一行は、両国の研究者間協力の一環で、ウアリ・ブーメディエンヌ科学技術大学（USTHB）を訪問。
- 7-9日、シェルファ農業・農村開発相は、テブン大統領代理として、ナイロビ開催の肥料と土壌の健全性に関するアフリカ首脳会議に出席。
- 7-13日、当地訪問中のケニア・エネルギー部門代表団は、ハシシ・ソナトラック総裁と会談するとともに、ハシシ・メサウド、ハシシ・ルメル、ナフタル社を訪問。
- 9日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、鉱山の国有化58周年と国営石油精製・石油製品供給会社ソナレムの創設57周年記念式典を開催。ソナレムは、中国Sinosteel 社及びトルコ・トスヤリ社との間で鉱業分野の3つの契約に署名。
- 10日、モーリタニアに開設されたアルジェリア・ユニオン銀行（AUB）は、イスラム金融商品専用の窓口の開設を発表。
- 11日、ベラリビ住宅・都市計画相は、伊と中国のパートナーとの間で、AADL（住宅改良・開発機構による低所得者向け住宅）事業プロジェクト専用のエレベーター製造工場建設に合意した旨発表。
- 12日、ジトゥニ商業・輸出促進相は、バーレーン開催の第33回アラブ連盟理事会に向けた、アラブ経済社会理事会（ACSC）閣僚級会合に出席するとともに、ファフロ・バーレーン工業・商業相、サラム・レバノン経済貿易相とそれぞれ会談。
- 12日、アウン産業・製薬相は、製薬部門の国内生産による市場カバー率が本年末までに80.48%に達する旨発言。
- 12日、中国自動車メーカー長城汽車は、アルジェに初のショールームを開設。
- 13日、当国農業・農村開発省は、伊 Bonifiche Ferraresi 社と実施する穀物生産

のための大規模農業プロジェクト承認を発表。

- 13日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、当地訪問中のポルトガル大手石油・ガス産業向けエンジニアリングサービス、TECHNOEDIF Engineering の代表団と会談。
- 13-17日、商業・輸出促進省官房長率いるアルジェリア代表団は、赤道ギニア開催のAU貿易・観光・産業・鉱物資源専門技術委員会の第4回通常会合に出席。
- 14日、PwCは、初となる当国版グローバルCEO調査を発表。
- 14日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、ハメル・ガス輸出国フォーラム（GECF）事務局長と会談。
- 16日、中国訪問中のベンムルード・デジタル・統計相兼デジタル化高等弁務官は、金荘龍・中国工業情報化相と共に、デジタル化とデジタル経済に係る協力覚書に署名。
- 16日、アルジェリア投資促進庁（AAPI）と当地EU代表部は、当国とEU間の投資・貿易に係る会合を開催し、アウン産業・製薬相、レカッシェAAPI長官、ムーラ・アルジェリア経済再生評議会（CREA）会長が出席。
- 17日、官報第33号に、自動車生産に関する仕様書を修正・補足する大統領令が掲載。
- 17日、被雇用者社会保険基金（CNAS）は、ベルギー・ブルグマン大学病院との間でパートナーシップ協定に署名。
- 17日-18日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、伊で開催された地中海地域の地政学・経済・社会文化に係る国際フォーラムの第3回作業部会に出席。
- 18日、国立住宅銀行が正式に稼働を開始し、AADL3プロジェクトに融資することを発表。
- 18日、国営炭化水素公社ソナトラックは、伊ENIとの間で、炭化水素分野の研究・開発を目的としたMOUに署名。
- 18日、中国自動車ブランドJetourは、ボルジ・ブ・アリレジ県に生産工場を建設し、来年12月に最初のモデルの納入の目標を発表。
- 19日、農業・農村開発省は、本年7月17日まで実施される農業国勢調査の開始を発表。
- 19日、アルジェリア商工会議所（CACI）は、ポーランド商工会議所及び当地ポーランド大使館との間で、ビジネスフォーラムを開催。
- 19日、CNASは、伊病院グループ・サン・ドナートとの間で、パートナーシップ協定を締結。
- 19日、デルバル水相は、バリ（インドネシア）開催の世界水フォーラムに出席。ガニム・パレスチナ水道局長のほか、サウジアラビア、チュニジア、セネガル、タジキスタンのカウンターパートとそれぞれ会談。
- 19日、ワリード知識経済・スタートアップ・零細企業相及びトリキ郵便・情報通信相は、第2回情報通信技術フォーラム「CTOフォーラム」を開催。
- 19-20日、アルジェにて第128回アラブ鉄鋼組合（UAF A）通常総会が開催。
- 20-22日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、ソナトラック及びソネルガス総

裁らを伴い、コンゴ共を訪問。炭化水素分野の両国間の協力にかかる覚書に署名したほか、サス・ンゲソ大統領を表敬。

●21日、国営鉄鋼会社FERAL及びトルコ・トスヤリ社は、ベシャル県にて、共同鉄鉱石精鉱生産設備建設の第一段階を開始。

●22日、世銀は、当国経済情勢に係るレポートの本年春版を発表。

●22日、エアフランス・グループの格安航空会社トランサヴィアは、アルジェに初の代理店を開設。

●23日、国営炭化水素公社ソナトラックは、米ベーカーヒューズ社、伊 Nuovo Pigone International 社、伊 Tecnimont 社のコンソーシアムと、ハッシ・ルメル地区昇圧設備増強プロジェクトに係る契約を締結。

●23日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、当地訪問中の米石油・ガス大手 ExxonMobil 代表団と会談。ソナトラックは、同社と炭化水素資源開発に係る覚書に署名。

●23日、シェルファ農業・農村開発相は、農産物開発グループ（GVAPRO）の公的経済企業への再編を発表。

●23日、国家経営参加評議会（CPE）は、当国の鉄道プロジェクトのエンジニアリングと実施を専門とする公的グループの設立を承認。

●25日、官報第34号に、ベシャル-ティンドゥフ-ガラ・ジェビレット鉄道プロジェクトの第2区画及び第4区画建設を公共事業と宣言する大統領令が掲載。

●25日、サイヒ保健相は、第77回世界保健総会出席のためジュネーブを訪問し、テドロスWHO事務局長を表敬。

●25日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、当地訪問中のトネラ・モザンビーク経済・財務相と会談。

●26日、中国ファーウェイが主催するICTコンクールに参加した当国の大学生は、2部門で最優秀賞及び大賞を受賞。

●27日、再生可能エネルギー開発センター（CDER）は、2035年までに40県で15,000MWの太陽光発電設置を目指す再生可能エネルギー国家計画の第一段階完了を発表。

●27日、ダハレブ環境・再生可能エネルギー相は、国連開発計画（UNDP）と Sopt Divindus 社と共同で、廃棄物管理とエネルギー生産の統合に係るプロジェクトの開始を発表。

●27日、ムルジ文化芸術相、アウン産業・製薬相及びワリード知識経済・スタートアップ・零細企業相は、文化部門のスタートアップ支援を目的としたインキュベーターの発足式に出席。

●27-31日、トリキ郵便・情報通信相は、ジュネーブ開催の世界情報社会サミット（WSIS）に出席するとともに、サウジアラビア、中国、セルビア代表団とそれぞれ会談。

●27-31日、ファーイド財務相は、ナイロビ開催のアフリカ開発銀行（AfDB）年次総会に参加。

●28日、当国アクアコンチネンタル社は、米 E. S. E. intec 社との間で、エビの養殖

に係る契約に署名。

●28日、ソナトラックは、KRK浮体式再ガス化ターミナルを通じて、クロアチア向けの液化天然ガス（LNG）貨物を初出荷。

●28日、当国建築会社 Holcim El-Djazair は、多国籍企業SLBと、CO2回収・貯留に係る契約を締結。

●30日、テブン大統領は、ヘンシュラ県を訪問し、AADL3プロジェクトへの登録受付開始、同県とウム・エル・ブアギ県を結ぶ鉄道開通等を発表。

●30日、AfDBは、本年の当国経済成長率予測を前年の2.7%から4%に上方修正。

●30日、ラルバウイ首相は、当地訪問中のトネラ・モザンビーク経済・財務相と会談。

治安

●1日、国軍は、25日－30日実施の掃討作戦でテログループ支援者11人を逮捕した旨発表。

●3日、国軍は、テロ対策の一環として、イン・ゲザム県ティン・ザウアティーンでテロリスト1人を殺害するとともに、テログループ支援者2人を逮捕し、自動拳銃1丁、弾筒3個などを押収した旨発表。

●5日、シディ・ベラベス県警察は、外国査証申請者のために文書を偽造していた6人組を検挙した旨発表。

●6日、モスタガネム県警察は、海路密出国を幫助するとして多額の金銭を騙し取っていた3人組を逮捕した旨発表。

●10日、アルジェ県警察は、7－8日実施の搜索で、薬物の不法所持や取引、刃物所持などの容疑で403人を逮捕した旨発表。

●11日、アルジェ県の行楽地レ・サブレットの海水浴場で、学校活動の一環で来所していた遊泳中の子供5名が溺死する事故が発生。検察は14日までに、関係者7人を拘束。同事故を受け、テブン大統領は、遺族に弔意を表明。

●15日、国軍は、8日－14日実施の掃討作戦で、テロリスト1人が投降、テログループ支援者9人を逮捕した旨発表。

●19日、憲兵隊は、ボルジ・ブ・アレリジ県で、国際的に薬物を取引する5人組を逮捕し、向精神薬プレガバリン83万7千錠を押収した旨発表。

●22日、国軍は、15日－21日実施の掃討作戦でテログループ支援者12人を逮捕した旨発表。

●27日、アルジェ県ダル・エル・ベイダ刑事裁判所は、2013年1月発生 of イナメナス・ガス施設襲撃事件の裁判を開催するも、本年10月への延期を決定。

●27日、アルジェ県警察は、民家に侵入し多額の現金と宝石を窃取した2人組を逮捕した旨発表

●29日、国軍は、22－28日実施の掃討作戦でテロリスト2人を殺害、テログループ支援者6人を逮捕、また、テロリスト1人が軍当局に投降した旨発表。

(了)